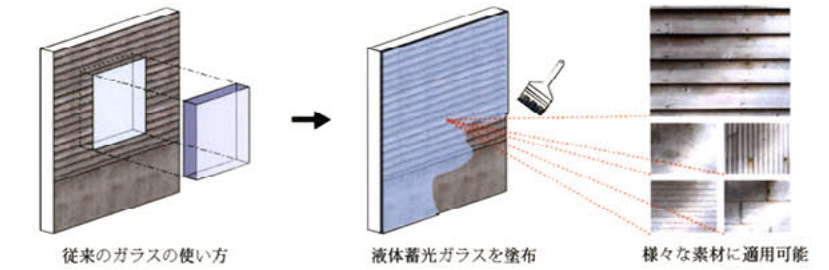


# 漁村集落の被膜

新潟県の西部に位置する漁村集落、筒石。細長い土地に木造3階建てが密集しており、数多くのリスクと隣り合わせに地域住民たちが助け合いながら生活している。漁村集落の風景や人々の活動を、ガラス塗装を用いて持続させつつ更新する方法を考える。

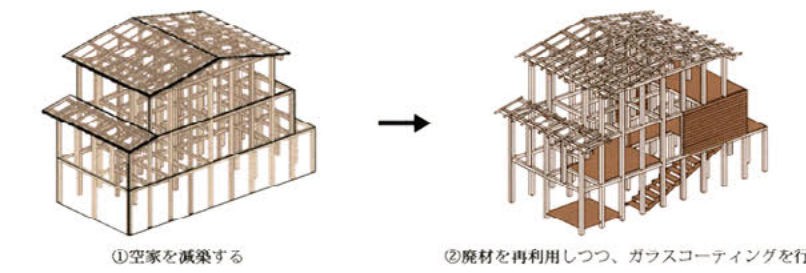
## 漁村集落の存続・更新方法

はめ込むガラスからコーティングするガラスへ



住人も参加し、既存の家屋に蓄光ガラスのコーティングを行う。漁村集落の素材感を損なわずに、耐火、防錆性能を向上しつつ、反射性・蓄光性により暗い町並みを明るく照らす。

空家を減築して漁村集落のライトコアに



増加しつつある空家をライトコアとして新たに命を吹き込む。集落に通風・採光をもたらす、通りを繋ぐパスとして働く。水まわりと備蓄倉庫を設け、地域の防災拠点とする。

## 対象地域 - 新潟県糸魚川市筒石 -

海岸沿いに伸びる細長い土地に密集して暮らしている。3階建て木造密集による延焼の危険や暗い路地空間、海沿いゆへの塩害など多くの問題を抱えている。

